

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その属性、入院・来院時の状況及び傷病名等の実態を明らかにし、併せて地域別患者数を推計することにより、医療行政の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の沿革

この調査は、医師の診断した傷病名に基づく傷病調査であり、その前身は昭和 23 年 11 月に 1 週間にわたって実施された「施設面からみた医療調査」である。その後、おおむね毎年調査が実施され、昭和 28 年に「患者調査」となった。

患者調査は、患者の診療録の内容に基づく 1 日調査として毎年実施されたが、昭和 59 年からは、調査内容を充実し地域別表章が可能となるよう客体数を拡大するとともに、調査を 3 年に 1 回、医療施設静態調査と同時期に実施することとなった。

平成 5 年調査からは、病院の入院患者及び病院の退院患者の状況を二次医療圏別に表すことが可能となっている。

3 調査の対象及び客体

全国の医療施設を利用する患者を対象として、病院の入院及び退院は二次医療圏別、病院の外来及び診療所は都道府県別に層化無作為抽出した医療施設を利用した患者を客体とした。

	調査対象施設数	抽出率	回収施設数	集計客体数	
				入院・外来	退院
病院	6,284 (3,372)	7.6/10 (4.1/10)	6,185 (3,316)	180.6 万人	103.3 万人
一般診療所	5,868	6.1/100	5,587	27.5 万人	0.7 万人
歯科診療所	1,277	1.9/100	1,217	2.6 万人	

注：1) () 内は病院の外来である。

2) 退院については病院・一般診療所のみである。

3) 歯科診療所は、外来のみの調査である。

4 調査の期日

病院については、令和 2 年 10 月 20 日（火）～22 日（木）の 3 日間のうち病院ごとに指定した 1 日とし、診療所については、令和 2 年 10 月 20 日（火）、21 日（水）、23 日（金）の 3 日間のうち診療所ごとに指定した 1 日とした。

また、退院患者については、令和 2 年 9 月 1 日～30 日までの 1 か月間とした。

5 調査票の種類及び調査の事項

調査票は、次の 7 種類である。 病院入院(奇数)票 病院外来(奇数)票 病院(偶数)票
一般診療所票 歯科診療所票 病院退院票
一般診療所退院票

調査の事項は、性別、出生年月日、患者の住所、入院年月日（※1）、退院年月日（※2）、主傷病名、副傷病名、診療費等支払方法、病床の種別（※1）、紹介の状況（※3）、退院後の行き先（※2）等である。

※1 入院患者及び退院患者に対する調査事項 ※3 入院患者及び外来患者に対する調査事項

※2 退院患者に対する調査事項

6 調査の方法

医療施設の管理者が記入する方式によった。

7 調査の系統

厚生労働省 ———— 都道府県 ———— 保健所 ———— 医療施設

保健所設置市
特別区

8 結果の集計

厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。
なお、医療施設に関する情報の一部は、令和2年医療施設静態調査の結果を用いた。